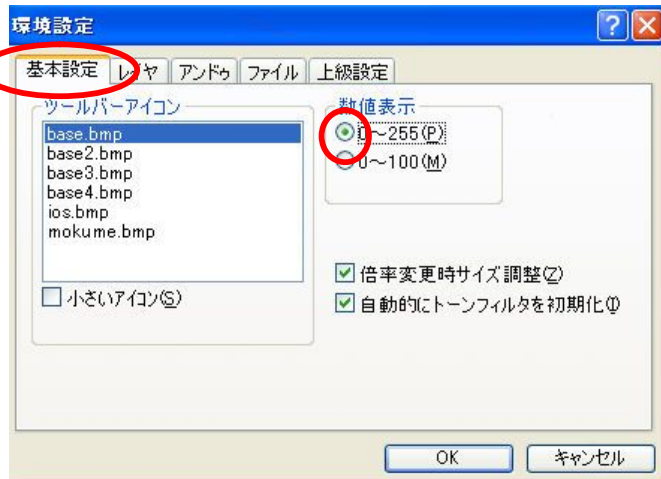


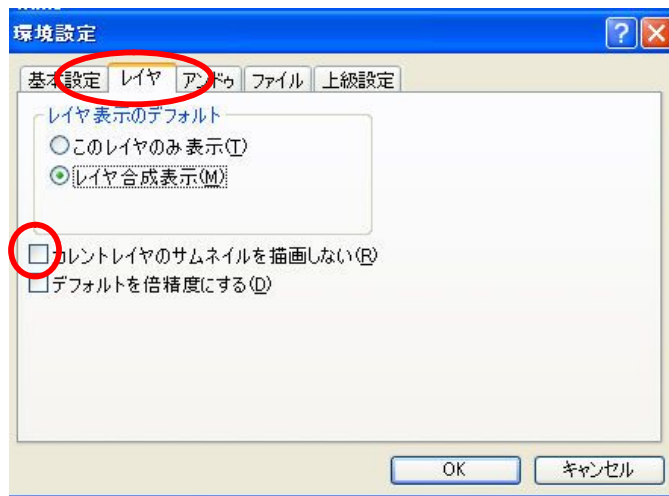
Pixiaで似顔絵をつくろう

<準備>

1. **ファイル>環境設定>基本設定タブ** 数値表示を”0~255”にする。



ファイル>環境設定>レイヤタブ “カレントレイヤのサムネイルを描画しない”のチェックを外す。OKボタンを押す。



2. **デジカメ写真を取り込む**

マイドキュメントに保存された画像を**メニューバー>ファイル>開く**で表示。
画像が大きすぎて画面に入らない時は、**メニューバー>表示>拡大率**で縮小する。

3. **写真を切り取る**

ツールバー>  **[領域] - 長方形ボタン** をクリック。

切り抜きたい顔の部分をドラッグし、長方形で囲む。(縦横比はお好みで)

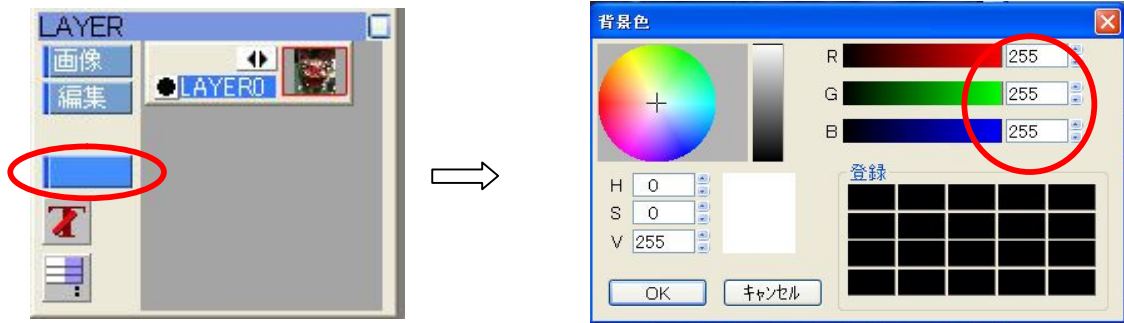
メニューバー>編集>コピー・・・画像がクリップボードにコピーされる。
 メニューバー>ファイル>クリップボードから開く・・・切り取った画像が新規画面で現れる。

縦 500 ピクセル位、横 300~400 ピクセル位が適当。
 大きすぎた時は、メニューバー>画像>大きさを変えて複製 で変更後の高さを 500 ピクセル位にする。

<作業>

レイヤパネルをドラッグして引き出しておく。
 今、レイヤパネルにレイヤは ”layer0” の一枚だけ。

赤丸の部分をクリックすると”背景色” 画面が出る。
 この画面の右上の R. G. Bの数値を 255 (白) に変えOK。



レイヤパネルの編集ボタンをクリック。追加で”レイヤ追加”画面が出てくるので



フルサイズ”を確認後、OKボタンを押す。

新しいレイヤ (LAYER1) が追加される。右側の白い画面が赤枠になっている。

☆ 赤枠で囲まれているレイヤが編集できるレイヤ。
作業を行うときには必ず赤枠になっているか確認する。

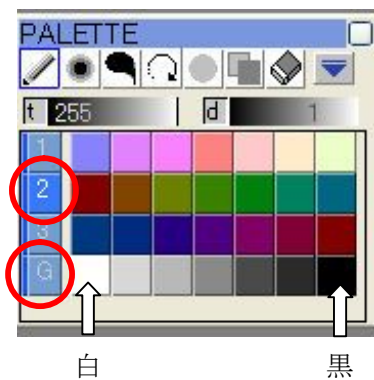


1. レイヤを使う前の前処理

新しくできたレイヤは透明なので白く塗ってから使います。

PALETTE パネルで白を選ぶ。

(2番をクリックして出てきた画面で、G行の左端が白、右端が黒) 白をクリック。



カラーパネルのR. G. Bの数字がすべて"255"になる。



ツールバーの "塗りつぶし" ツールをクリック。

"LAYER1"が透明から白に変わる。(今見えている画面は真っ白)

2. レイヤパネルの"LAYER1"の文字をクリックして"レイヤ設定"画面を開く。

名前.....線画
合成方法.....乗算
にしてOKボタンを押す。

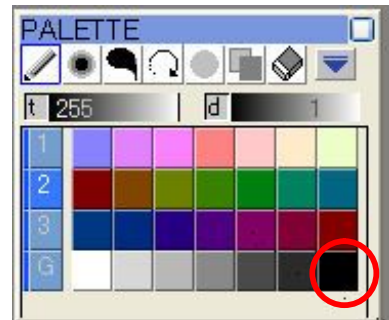


写真が見えるようになった。

3. 同様に”LAYER0”の文字をクリック、出てきたレイヤ設定画面で
 名前・・・・・・写真
 合成方法・・・・・・重ねる
 レイヤの濃度・・50%
 にしてOKボタンを押す。(写真が半透明に見える。)

4. 線を描くための準備

ペン先の太さを設定します。
 ”PALETTE”パネルで黒（G行の右端）を選ぶ。

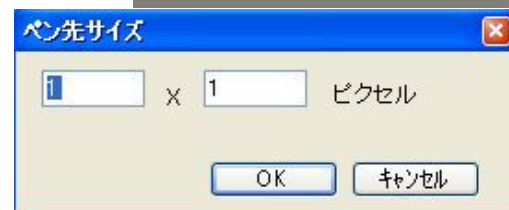


5. ”PEN”パネルの赤丸部分をクリック

編集>”ブラシサイズリストの編集”画面がでるので
 “追加”ボタンをクリック、






”ペン先サイズ”画面で5×5ピクセルにして
 OKボタン、閉じるボタン。



3×3、5×5、10×10の3種類位を
 作っておきます。

6. 輪郭をとる。

ツールバーのフリーハンドをクリック (フリーハンド補間ではない。フリーハンドが無い時はメニューバー>ファイル>ツールバーのカスタマイズ>領域>フリーハンドで表示させる)

”PALETTE”パネルで黒をクリック、左上のアイコンをクリック。

ペン先の大きさは5×5か10×10を使用。


7. 顔、髪、体の輪郭を線でなぞっていきます。


- ・ 線と線の間隙をなくす
- ・ 細かい部分は画像を拡大して見やすいようにして作業する

[メニュー](#) > [表示](#) > [拡大率](#)

8. 間違えたときは

- ・ 白で塗りなおす。絶対に消しゴムは使わないこと（下地の白まで消えてしまう）

“PALETTE”パネルで白をクリック  アイコンになっているのを確認して失敗分を塗りなおす。

- ・  “元に戻す”ボタンでも一作業戻ります。

・・・線画が描けたら一度保存


9. 色の塗り方①、3枚目のレイヤを作り、色を塗っていく。

今、“写真”と“線画”の2枚のレイヤがあるはず。

“線画”レイヤを選んだ状態で（線画に赤枠）、[レイヤパネル](#) > [編集](#) > [追加](#) > [フルサイズ](#) > OK

3枚目のレイヤ（LAYER2）ができました。

10. 色の塗り方②、


“PALETTE”パネルで白をクリック、[ツールバー](#)の  “塗りつぶしツール”をクリック
3枚目のレイヤが白くなる。

“LAYER2”の文字をクリック、レイヤ設定画面で

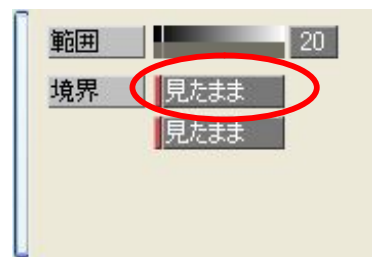
レイヤの名前・・・・色

合成方法・・・・乗算

でOK ボタン。線画が見えるようになった。

[ツールバー](#)の  “[領域] - 閉領域”アイコンをクリック
すると、“PEN”パネルがこのように変わります。→ →

“見たまま”をクリックすると“レイヤ選択”画面がでるので、



”任意のレイヤ”を選ぶ にチェックをいれ

レイヤ・・・・・・”線画”

プレーン・・・・・・”画像”

で OK ボタン


1 1. “写真”レイヤはもう使わないので非表示にしておきます。

“写真”レイヤの右向き三角をクリック、“写真”レイヤが右にずれた。


1 2. 今は、色レイヤが選択されているはず。

①塗りつぶしたい部分をクリック（その部分だけ白くなる）

②”PALETTE”パネルで好きな色をクリック。

③ツールバーの  塗りつぶしツールをクリック。白く選択したところに色が付く。

その繰り返しで（①→②→③）色づけしていく。線に隙間があると色が流れでてしま

う。その時は線画レイヤを選択して  で線を修復する

顔、髪、服、背景も此処で色づけ。

1 3. 保存方法

今あるレイヤは、3枚（“写真”レイヤ、“線画”レイヤ、“色”レイヤ、ただし“写真”レイヤはずらしてある。

この状態でレイヤをまとめます。

[メニューバー>編集>レイヤの結合、](#)

”レイヤの結合”画面で非表示レイヤを破棄して新規ウィンドウ、OK ボタン。

新しく一枚の似顔絵が完成。

[メニューバー>ファイル>名前をつけて保存](#)

”名前をつけて保存”画面で好きな名前をつけ、ファイルの種類は jpg で。

（ホームページにアップするなら半角英数で名前をつける。）

☆作業途中で保存するときのファイルの種類は”標準 [* .pxa] ”にします。

そうしないと今までのレイヤが残りません。

[* .pxa] で保存した画像は、ピクシアで開けば後でやり直しができます。

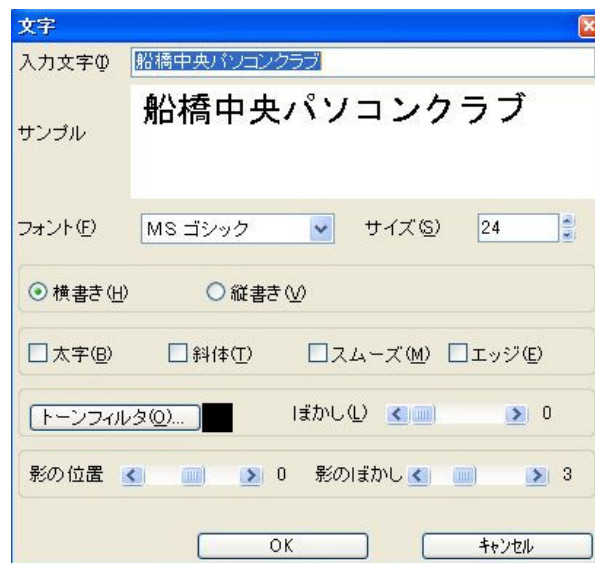
おまけ：最後に文字の挿入

もう一枚文字用のレイヤを作ります。

色レイヤが選択されている状態でレイヤパレットの編集ボタンをクリック。追加でフルサイズを確認、OK。新しいレイヤができました。(赤枠になっているか確認)

好きな色を”PALETTE”パネルでクリックして文字の色を選びます。

<その1> [メニューバー>描画>文字](#) で文字画面がでてくる。



文字のデザインをここで作って、OKボタン。

文字が4枚目のレイヤに張り付きます。好きな位置にドラッグして移動。

文字を右クリックし、このレイヤに貼り付け、OK

<その2>   などで文字を書く。

どちらの方法でも最後はレイヤをまとめて ([メニューバー>編集>レイヤの結合](#)) 名前をつけてjpgで保存する。

